

焼杉レギュラー（ブラシ）製品の経年変化の例



1. 屋外施工直後

焼杉の炭をブラッシングで軽く落とした状態の商品です。表面にはうっすらと炭が残っている状態です。



2. 屋外1ヶ月程度

表面の炭が徐々に落ち始め、下地の杉材の色が透けて見えてきます。節と冬目の所は黒いままです。



3. 屋外2～3ヶ月程度

表面の炭が更に落ち、白っぽい見た目に成ってきます。

表面の炭が落ちることによる色の変化はこの程度である程度落ち着いてきます。また、下地の杉の色合いにより多少色合いが異なります。

全ての板の箇所が必ずしも同じ調子で色落ちするという事ではありません。

全ての場合においてこのような色落ちをするものではありませんが、立地条件や、気象等様々な要素により比較的早い段階（2～3ヶ月程度）で表面の炭が落ち杉の木肌の色が出てくる場合があります。ご使用の際はあらかじめこの特性をご理解の上ご使用下さい。こちらの経年変化による炭落ちのクレームは受け付けることが出来ませんので何卒宜しくお願い致します。

メンテナンス用の塗料も取り扱っております。

塗装後の風合いは施工直後とは異なります。塗装に伴うクレームは受けかねます。